

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	若松競艇場特別観覧施設	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市若松区赤岩町13番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	300 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	400 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年9月5日
敷地面積	102,159 m <sup>2</sup>	作成者	九和設計株式会社
建築面積	1,125 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,145 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 63%  
 ③上記+②以外の 63%  
 ④上記+ 63%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: N.A., 空気環境: 3.0	機能性: 3.0, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.0	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.2	地球温暖化: 4.4, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティの利用を考慮した多目的ホールの設置。</li> <li>地域のコミュニティへの貢献を目的とした市民ホールの設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
<b>Q1 室内環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ホール西側外部に、省エネを目的としたルーバーの設置。</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー新法の基準に適合している。</li> </ul>
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の配置・形態のまちなみへの緩和・景観地区へ配慮した色彩の採用。</li> </ul>	<b>LR1 エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>空調負荷の軽減の為、断熱性能の向上に努めている。(省エネ法へ届出済み)</li> </ul>
<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>節水型便器・自動水栓・節水コマ使用。</li> <li>リサイクル材の使用</li> <li>有害物質を含まない材料の使用。</li> </ul>	<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境への配慮・風害・砂塵・日照障害の抑制</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される